

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)事業について

- 本事業は、避難所の生活環境を抜本的に改善するため、地方公共団体の先進的な防災の取組支援のため、国から交付金が交付されるものです。
- 令和7年度 向日市が取り組む事業として交付決定が得られており、事業を進めています。
- 本交付金を活用した事業については、目標数値を設定し、その達成度合いを各自治体における有識者委員会において検証することが求められており、次年度の委員会において、効果検証を実施します。

(新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型))

事業名	事業概要	購入する資機材等	事業予定額	KPI	進捗・今後の予定
向日市防災 力強化事業	避難所の生活環境整備のため、プライバシーが確保されるパーティション等の購入、またそれらを備蓄するための備蓄倉庫を購入する。また、蓄電池の購入により、災害時の電力を確保する。資機材について、平時は、防災訓練や小中学校での出前授業で避難所を体験してもらう際に利用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫 ・パーティション ・炊き出し用テント ・簡易ベッド ・蓄電池 	60,674千円	①備蓄倉庫の数 R7:10箇所、R8:10箇所、R9:10箇所 ②パーティションの保有数 R7:1,000張、R8:1,000張、R9:1,000張 ③交付金事業で購入した資機材の地域イベントでの活用 R7:10回、R8:15回、R9:20回 ④避難所開設時、パーティションテントや簡易ベッド等を設置できる人の割合 R7:50%、R8:80%、R9:100% ⑤資機材利用方法の認知度 R7:50%、R8:80%、R9:100%	避難所に設置する備蓄倉庫及び備蓄物資等の購入手続きを進めている。令和8年1月に実施予定の防災訓練にて活用予定。